

名古屋市教育委員会定例会

平成24年5月23日
午前9時30分
教育委員会室

議案

- 第37号議案 名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則案について
第38号議案 平成24年度歯科衛生優良校等の表彰について
第39号議案 名古屋市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

出席者

三 林 久 美 委員長
永 井 幸 代 委員
古 川 隆 委員
野 田 敦 敬 委員
服 部 はつ代 委員
伊 藤 彰 教育長
教育次長始め、事務局職員23名

(三林委員長)

それでは、ただ今から教育委員会定例会を開催いたします。

最初にお諮りいたします。第38号及び第39号議案は、名古屋市教育委員会会議規則第6条の規定に基づき、非公開にて審議し、会議録につきましても、第38号議案は記者クラブ発表するまでの間に限り非公開とし、第39号議案は非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(三林委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

それでは、第37号議案「名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則案について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(津坂総務課長)

第37号議案「名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部改正について」をご説明いたします。

本市では、幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、所得や園児の兄弟の人数に応じて授業料等の減免を行っております。ここにいう所得とは、市町村民税の算定の基礎となる所得をいいますが、税制改正により、平成24年度から市町村民税の年少扶養控除が廃止されましたので、これまでと収入の変わらない世帯にあっても、この所得の額が増加することとなりました。今回の規則改正は、従来からの減免対象世帯に極力影響が生じないようにするため、減免の要件となる世帯の所得の基準額を増額するものでございます。

よろしくご審議をお願いします。

(三林委員長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はありませんか。

一つ確認ですが、2人、とあるのは2人でほとんどカバーできる、ということでしょうか。

(津坂総務課長)

今回は2人のモデルで行います。お子さんが3人、4人の方もみえるのですが結果的には申し訳ないですが不利になります。どこかで線引きをしないといけないので。

(三林委員長)

だいたい妥当なところが2人ということですね。わかりました。

他にご意見ご質問はございますか。

それでは、第37号議案については原案通り可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(三林委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

第38号議案及び第39号議案は非公開になります。

第38号議案及び第39号議案は非公開にて審議されたため、名古屋市教育委員会会議規則第12条の規定により、会議録は別途作成。

午前10時閉会

名古屋市教育委員会定例会

平成 24 年 5 月 23 日
午前 9 時 30 分
教育委員会室

議 案

第38号議案 平成24年度歯科衛生優良校等の表彰について

出席者

三 林 久 美 委員長
永 井 幸 代 委 員
古 川 隆 委 員
野 田 敦 敬 委 員
服 部 はつ代 委 員
伊 藤 彰 教育長
教育次長始め、事務局職員23名

(三林委員長)

それでは、第 38 号議案「平成 24 年度歯科衛生優良校等の表彰について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします

(森川学校保健課長)

第 38 号議案「平成 24 年度 歯科衛生優良校等の表彰について」説明いたします。

本件は、資料 4 の「表彰の趣旨及び理由」にありますとおり、学校歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を、6 月の歯の衛生週間に協賛し表彰しようとするもので、今年度で 52 回目を数えます。

顕著な成績をあげた学校を「歯科衛生優良校」として、その中でも今回までの 5 年間、連続して優良校候補となる学校を、「特別優良校」として、また、これまでに一度も表彰の実績がない学校のうち、歯科衛生活動に一定の成果を挙げ、今後の一層の取り組みが期待できる学校を「奨励校」として、それぞれ表彰するものでございます。

選定にあたりましては、各学校の平成 23 年度における歯科疾患や処置の状況、健康相談などの保健管理、歯の清掃指導や学校行事などによる保健指導、児童会・生徒会などの組織活動など 18 項目を、学校歯科医や校長、教育委員会職員ら 24 名による審査会におきまして、審査基準に沿い、評価いたしました。

評価にあたりましては、昨年度教育委員会でご指導、ご指摘をいただいた歯肉炎に対する取り組みについても、各学校から提出される調査票に今回新たに歯肉炎についての評価項目をいれて評価をしているところです。

審査の結果、「歯科衛生特別優良校」は、白鳥小学校、春日野小学校の 2 校でございます。

2の「優良校」としては、自由ヶ丘小学校始め19小学校、東星中学校始め8中学校、それに守山養護学校の28校ございます。

3の「奨励校」は、正色小学校始め4小学校、宮中学校始め2中学校でございます。候補校それぞれの取り組み概要を、2ページから7ページにまとめさせていただきました。主なものをご紹介しますと、2ページの「特別優良校」の白鳥小学校では、授業を公開し、保護者と子どもが一緒になって歯肉炎予防について学習するというので、授業の中で親子で取り組んだ活動、同じく春日野小学校では、歯磨き指導を取り入れた食育の学習の中で歯に関することを取り上げています。それから、3ページの、西区幅下小学校での親子の染め出し教室、4ページの中村区稲西小学校での同様の親子の染め出し、南区大磯小学校での展覧会で歯に関する催しを行っているところ、6ページの昭和区の川名中学校、熱田区の日比野中学校では口腔写真を使って実際の歯肉の状態を確かめる活動をしています。

今回新たに評価の対象にしました歯肉炎に関する取り組みが随所に見られるところです。

参考までに、8ページ以下には、現在の名古屋市立の小学校、中学校のう歯（むし歯）の状況を、昭和46年度から昨年度までの40年間の推移を一覧表にまとめてあります。のちほどお目通しいただければと思います。

最後になりますが、この歯科衛生優良校等の表彰については、本日お認めいただきましたら、明日5月24日記者クラブに資料提供し、6月2日（土）に名古屋市公会堂で開催します「第60回歯をまもるよい子の会」において、表彰式を行います。よろしく願いいたします。

（三林委員長）

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はありませんか。

（永井委員）

歯の健康に関してとても幅広く取り組んでいただき、素晴らしいと思います。もし資料があれば、歯肉炎や歯周病についてお子さんたちの数が去年より減っているかどうか、教えてください。

（森川学校保健課長）

パーセントで申し上げれば、大幅に減っているわけではないですが、22年度が経過観察が小学校が19.6%、23年度19.2%、で若干は下がっています。同じように中学校は22年度が24.7%、23年度が24.4%、です。ただ、実際に歯肉炎にかかって治療を続けてください、ということになると、小学校は22年度が5.8%、23年度が5.9%、中学校は22年度が11.3%、23年度が11.8%で若干上がっています。17年ごろから取り組みをしていますが、全体的にはう歯は下がっていますが、歯肉炎は徐々に上がっている傾向がありますので、こういった活動を通して子どもたち、保護者、地域と連携をとり歯肉炎が減るように頑張っていきたいと考えています。

(野田委員)

合計すると 36 校が表彰ですが、応募の母数はどれくらいかということと、幼稚園は対象にならないのか、ということを教えてください。

(森川学校保健課長)

応募数は 375 校で、全校です。幼稚園は対象ではありません。

(三林委員長)

以前から会議で歯肉炎のことをだいぶご指摘させていただいて、評価項目に入れていただいたことは大変評価できていると思っています。

この評価が加わったことによって、学校での取り組みが何か変わったということはあるのでしょうか。

(森川学校保健課長)

著しく変わったわけではありませんが、新たに表彰するにあたり、歯肉炎に関する受診勧告の回収率や、保護者との連携を新たに加えたので、それを意識して各学校は取り組んでいるということで、積極的に評価項目をあらわすことにより、ますます意識が高まってくると思います。

(服部委員)

歯肉炎で急激に悪くなる、など特別なケースの伸び方は学校では把握されていないのでしょうか。

愛知県の医師会で、急激に歯肉炎が悪化した場合は虐待、ネグレクトの可能性もあるということなので、数の問題だけでなく、急激な悪化に対するご指導はどうなっているのでしょうか。

(森川学校保健課長)

調査票の中で「う歯多発者への対策」という項目を設け、子どもの状況を把握するようしており、急激に増えている場合は、学校でも意識して取り組んでいるということになります。

(三林委員長)

それでは、他にご意見もないようですので、第 38 号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(三林委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。